



## 神奈川県南支部・年末一時金で企業要請！ 各社厳しさを強調するも要請の趣旨は理解

神奈川県南支部は、年末一時金闘争の山場を迎えた11月2日に一時金の回答促進と早期決着などを求める企業要請行動を実施し、齋藤健人副委員長や大島信雄書記長をはじめ、支部と分会の役員8名が終日の行動に参加しました。

この日は日程調整ができずに残念ながら訪問できない企業もありましたが、川崎市内のトラック・バス会社6社と横浜・相模原・三浦市内のトラック・バス会社3社の計8社に対し2班に分かれての行動となりました。



要請書を経営側に手渡す齋藤副委員長

神奈川県南支部が毎年の春闘と夏季・年末一時金闘争に合わせて実施する企業要請行動は、すっかり定着していて経営側も一部の企業をのぞいては真摯な対応が行われ、組合側がつぎの訪問企業の時間を気にするほど熱心に話し込む経営者もいます。

## 荷主・元請けとの取引関係改善には程遠い現状

この日の行動で、経営側から話された内容の多くは、人手不足が深刻なこと、労働者の長時間労働是正が思うように進まないこと。しかし、大幅一時金アップや賃上げ、労働時間の短縮で若い労働力を確保するような経営状況にはないことなどです。

その背景にあるのは、国交省や厚労省が荷主と下請企業との取引環境改善や運転労働者の長時間労働改善に向けた施策をすすめていると言っても、現場では荷主・元請けによる運賃抑制をはじめとする荷主都合の取引が横行していて経営・労働環境の改善にはほど遠い現状があるということでした。

## 建交労トラック大運動への積極参加を訴える

要請をおこなった組合側は、経営側の話に理解を示しながら、運輸業界が抱える荷主・元請けと下請実運送事業者との不公正な取引関係を改善する根本的な対策が求められていること、それは労使相互の共通認識になっていることを確認しました。



首都圏トラック協議会が実施した運輸局交渉

そのうえで組合側は、トラック産業が抱える現状を打開するために建交労のトラック労使で構成する建交労中央運輸労使協議会が経営環境改善と労働条件改善を一体的に追求する「労使の共同によるトラック大運動」への理解と積極的な協力・参加を各企業に呼びかけて要請を終了しました。

県南支部はこの日の行動を、「11.8中央行動」の国交省と厚労省への要請に活かします。



# 被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。



人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ました。それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かす、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

## 私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

**原水爆禁止日本協議会**

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031